

令和 3 年度 姿川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育指標（目指す生徒像含む）

○ 学ぶ心

- ・学習や生活に必要な基礎・基本を身に付け、生涯にわたって自ら学び続ける生徒を育成する。（知性・自主性・生涯学習）
- ・経験や既習事項を基に自ら考え、判断を行い、自分の考えを表現できる生徒を育成する。（思考力・判断力・創造力）

○ 豊かな心

- ・ 人間的なつながりを大切にし、郷土や他国の文化を理解するとともに、異なるものや考えを受け入れながら、感謝する心や奉仕する心を持った生徒を育成する。（情操・人権感覚・郷土愛・国際理解）

○ 助け合う心

- ・ 自他の生命を尊重するとともに、心身ともにたくましく、実践力のある生徒を育成する。（生命の尊重・健康・気力）
- ・ 社会規範を遵守し、勤労を尊び、相手の立場を尊重しながら、協力し合う生徒を育成する。（責任・勤労）

○ 拓く心

- ・ 様々な社会的変化を乗り越え、自らの夢の実現や社会貢献への志を持つ生徒を育成する。（夢の実現・社会貢献）
- ・ 多様な人々と協働し、持続可能な社会の創り手となる自覚と責任を持った生徒を育成する。（協働・創造・持続可能な社会）

【目指す生徒像】 ○ 夢や目標に向かって意欲的に取り組む生徒 ○ 思いやりのある生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により急速に変化するこれからの社会を生き抜く生徒一人一人の確かな成長のためには、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居がいのある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせること、さらに学んだことをもとに課題を解決する力や創造する力を身につけさせることが大切であると考え。

【目指す学校像】 ○ 文武両道にたけ活気にあふれる学校 ○ 地域とともにある学校

【目指す教師像】 ○ 愛と情熱をもって生徒と向き合う教師 ○ 使命感があり自ら範を示す教師

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）学習指導要領や第2次宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特色を生かした教育課程の編成・実施に努める。
- （2）主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、グループでの学習を適切に取り入れるなどして、協働して課題に取り組む態度を養い、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- （3）生徒理解を基盤として、発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- （4）道徳科を核として、生徒一人一人の道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努める。
- （5）家庭との連携を強化し、健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- （6）生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- （7）保護者や関係機関等との連携を図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導やインクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進に努める。
- （8）児童生徒の9年間の成長を見通した小中一貫教育を実施し、学校園で共通理解を図りながら、姿川地域学校園が目指す基礎・基本の定着と心豊かな生徒の育成に努める。

[姿川地域学校園教育ビジョン]

発達の段階に応じた教育活動を通して、基礎・基本の定着を図るとともに心豊かな子どもを育てる。

～9年間の学びを通して～

- （9）社会に開かれた教育課程の視点に立ち、地域の教育力を最大限に生かすため、家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し、地域とともにある学校づくりの推進に努める。
- （10）教職員の服務規律の厳正を図るとともに、出退勤時刻の管理や学校リフレッシュデーを設定して、学校における働き方改革を推進する。

4 教育課程編成の方針

教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、中学校学習指導要領、県教育振興基本計画 2020「教育ビジョンとちぎ」、第2次宇都宮市学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダードを踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の実現を図り、生徒に生きる力を育むことを目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して編成していくこととする。

5 今年度の重点指標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点指標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 帰属意識や規範意識を高め、互いが協力し合い思いやりと居がいのある学級集団を育成する。（学級目標、学級のきまり、役割分担を活用した学級経営の充実）
- ・ 生徒の自主的・主体的な活動を助長し、自己肯定感や自己有用感を育てる活動を推進する。
- ・ 「努力を認める」「達成状況を褒める」「次に向けて励ます」（認めて・褒めて・励まして）の3指導を実践する。新学習指導要領の完全実施にあたり、教員の授業力向上に努める。（知的好奇心をあおる魅力ある授業展開の工夫、校内研修の充実）
- ・ これからの時代を生き抜く生徒が、様々な課題と積極的に向き合い、他者と協働し解決策を考えられるよう、課題に対し見通しをもって考え、解を導き出す力（創造する力）を育成する取組を推進する。
- ・ 感染症対策を徹底し、学校教育活動を継続し、生徒の健やかな学びの保障に努める。
- ・ 生徒の可能性を引き出し、個別最適な学びと協同的な学びを実現する GIGA スクール構想を推進する。

令和3年度 学校スローガン（生徒指標）「ピンチをチャンスに変えて 創り出そう よりよい未来」

【学 習 指 導】 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

- 学業指導（授業に向かう基本的な学習態度の指導）を徹底する。（2分前着席、基本姿勢、「はい」という返事、発表を聞かせる工夫、授業に集中させる工夫等）
- ・ ねらいを明確にし、学ぶポイントの把握と見通しを持たせ、また、振り返り活動の徹底により、生徒の授業内容の理解促進と自己の変容の自覚を図る取組を実践する。
- ・ 「話し合い活動」「学び合い活動」の実践、及び「発表させる場の設定」を通して、自ら考え、判断し、表現する能力を高める指導を実施する。
- ・ 数学・英語でのチーム・ティーチングや習熟度別学習の充実、及びかがやきルームの積極活用により、一人一人の理解度に合わせ、きめ細かい対応を行う。
- ・ ICT(CromeBook 端末を含む)を効果的に活用した授業・活動を推進する。
- 家庭学習の習慣化に向けた継続した取組との継続と学力向上対策を実践する。（「自主学習ノート」の活用強化、「授業・家庭学習強化週間」「チャレンジデー」設定）
- ・ 各種学力調査について正答率の分布状況や経年比較等の分析を行い、生徒の学習に係る課題を把握し共通実践を行う。
- ・ 将来を見据え自己の生き方を広げられるキャリア教育・進路指導を実践する。（夢や目標をもって学習に臨ませる取組、キャリアパスポートの効果的な活用）

【生 徒 指 導】 「互いの良さを認め合い、豊かな人間性、社会性を育む生徒指導の充実」

- ・ 善悪を判断する力や集団できまり・ルールを遵守する力を身に付けさせる。（5分前行動、身だしなみ・けじめのある生活態度の指導、より良い生活習慣の徹底）
- 道徳科への対応、読書活動、ボランティア活動など生徒一人一人の豊かな心を育む活動を推進する。（道徳科の授業の充実、読書時間の確保、自分・人・郷土を大切にする活動の推進）
- ・ いじめゼロを目指した取組を強化する。（「いじめ・悩みアンケート」等を活用した早期発見・早期対応、生徒会を中心とした未然防止の取組の強化）
- ・ SNS を介した被害防止に向けた指導の徹底
- ・ 新たな不登校を生まない学級経営と関係機関との連携強化により不登校対策を強化する。（早期の教育相談の実施、SCとの連携等組織的なフォローアップ等による未然防止、別室登校支援の充実、学校復帰のための体制整備）
- ・ 人権感覚を育成する取組を充実させる。（人権に関する授業、「マイナス言葉を使わない」の徹底）

【健康(体力・保健・食・安全)】 「感染予防対策の徹底と健やかな心身を育てる教育の充実」

- ・ 感染予防への意識を持続させるとともに、対策の徹底を図る。
- ・ 意欲的に運動に取り組み、体力向上に資する指導の充実を図る。（体育授業での実践、昼休み等での運動の励行、体育的行事の充実）
- 発達段階に応じた効果的な健康教育・性教育を充実させる。（歯磨きの習慣化、性教育サポート事業等）
- ・ 学校医の講話を行い、睡眠の質の向上を図る。
- ・ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣を育成する。（食事マナーや食の自己管理能力の育成、給食時の放送や委員会による啓発活動）
- ・ 生徒が自主的に取り組む清掃活動を充実させる。
- ・ 危険予測・回避能力の育成を図る安全教育・防災教育の充実と交通安全指導の充実を図る。（自転車ルール遵守の徹底）

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点指標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上	○問題の意図を的確にとらえるための読解力を高める指導 ・ねらいを明確にし、振り返りを確実に行う授業展開の徹底 ○家庭学習の定着を図るための「家庭学習の手引き」や「学習だより」を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着 ○「授業・家庭学習強化週間」の設定 ・「自主学習ノート」の実施		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者肯定的回答 80%以上	○「思いやり」を重点項目とした道徳教育の充実 ・道徳科を核にした、判断力、心情、実践意欲と態度の育成 ○「マイナス言葉を使わない」の徹底 ・地域でのボランティア活動時における高齢者との交流		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	○「時間を守る・2分前着席」等、基本的生活習慣の徹底 ・身だしなみ強化週間の実施 ・集団生活でのきまりを守る実践力の育成（規範意識の向上）		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	○小中合同あいさつ運動の充実 ・「あいさつウィーク」への積極的な参加 ・「先行あいさつ」の励行 (教師自らも率先して行う。)		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A5 生徒は、指標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 A7 生徒は、夢や指標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 80%以上	・達段階に応じたキャリア教育の推進 ・部活動を通じた指導 ・地域行事やボランティア活動への積極的参加の推奨 ・学級目標の掲示(各自の目標を明確にするとともに、協力して目標に向かって努力する態度を育成する。)		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 80%以上	・保健体育の授業での段階的な指導 ・外部講師を活用した健康教育の実践 ・「保健だより」「給食だより」を通した生徒及び保護者への啓発 ・危険予測・回避能力の育成を図る安全教育の充実 ・交通安全教室や避難訓練の実施による安全意識の高揚		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・様々な英語表現を用いた言語活動の場を多く取り入れた英語の授業の実践 ・ALT との積極的な交流の推進		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・総合的な学習の時間「姿中タイム」 ・「姿川地域自然・歴史ウォーキング」の実施 ・宇都宮ブランドを紹介する機会を設けるなど郷土への関心を高める。		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A10 生徒は、ICT機器（CromeBook）や図書等を学習に活用している。 A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 80%以上	・パソコンを活用した調べ学習や学習のまとめ ・姿中・SUGA スクールの推進「誰でも すぐにでも 各教科でも 家庭でも」ツールを効果的に使い学習効果を高めていく。 ・ICT機器（CromeBook）の積極的活用とそのための校内環境の整備 ・情報機器の基本的操作方法の習得 ・定期的な希望図書の調査 ・「読書週間」の設定 ○蔵書の相互貸し出し		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A12 生徒は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・教科や総合的な学習の時間等における問題解決学習 ・新聞記事やニュースの情報から環境問題や災害等の取り上げるなど問題提起 ・生徒会が中心となったリサイクル活動の推進		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・教育相談部会、特別支援委員会等における情報の共有化と迅速な対応 ・特別支援コーディネーターを中心とした支援体制の確立(かがやきルーム・心の教室等) ・保護者との合意形成及び連携強化 ・外国籍の保護者を含めた、個に応じた支援の充実(日本語指導等)		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・「姿川中学校いじめ防止基本方針」に基づく指導体制の確立 ・月1回の「いじめ・悩みアンケート」の実施(早期発見・早期対応) ・いじめ根絶集会やいじめ防止ポスター・標語の作成 ・生徒指導部会を中心とした情報の共有化と迅速な対応 ・いじめを扱った題材や人権に配慮した道徳の授業の充実		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す学校の姿	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・認めて、褒めて、励ます指導の実践 ・生徒一人ひとりにとって「居がい」のある学級づくり ・教育相談部会における情報の共有化と校内支援体制の確立 ・人権に配慮した授業展開 ・家庭との連絡・家庭訪問の実施		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・あいさつの励行 ・生徒会活動の活性化 ・学校行事等における活躍の場の提供や自己有用感の高揚 ・生徒の自己実現に対する教師の適切な支援		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	・ねらいを明確に、振り返りを確実に行う授業展開の徹底 ・「授業力向上旬間」の充実 ・授業公開の実施による指導力の向上 ・習熟度別学習やチーム・ティーチング指導の充実		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 85%以上	・様々な学校課題に対する全教職員の共通理解を図った上での組織的な対応 ・SC・MSをはじめとする専門性を有する学校スタッフとの連携の強化		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す学校の姿	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・ミライムの有効活用による業務の効率化、出退勤打刻の適正な管理 ・「部活動基本方針」に基づく効率的な活動、休養日の設定による負担軽減 ・「リフレッシュデー」の定期的な設定 ・勤務時間を意識した働き方の推進		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 80%以上	○学校園での「授業・家庭学習強化週間」の実施 ○小学校6年生への春休み学習アドバイスの配布 ○基本姿勢の指導・給食の「食事マナーアップ週間」指導の継続 ○あいさつ運動や運動会ボランティア活動		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】】 保護者肯定的回答 80%以上 地域住民肯定的回答 80%以上	・地域協議会の有効活用 ・PTAや学校支援ボランティアと行う環境美化活動 ・姿川歴史の会主催による「姿川自然・歴史ウォーキング」への参加 ・保護者会、三者懇談、オープンスクール等を通じた保護者との連携 ・保護司による受検面接指導の充実		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す学校の姿 本校の特色 ・課題等	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・月1回の安全点検の実施 ・清掃活動による環境美化の推進 ・避難訓練や防災訓練の活性化と安全教育の充実 ・各種業者の施設点検や「依頼書」を活用した修繕箇所への迅速な対応		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	B1 学校は、生徒の登下校時に安全指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上	・全職員による月1回の登校指導 ・毎週水曜日の一斉下校時や部活動終了時の下校指導の徹底 ・随時、集会等で全校生徒への注意喚起 ・「自分の命は自分で守る」指導の徹底		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	B2 生徒は、学校行事・部活動等で、協力し合い意欲的に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上	・生徒が自主的・自治的に参加できるよう企画・運営の工夫及び支援 ・学校行事等で生徒の活躍の場の提供 ・各委員会や行事の実行委員会、部活動等におけるリーダーの育成		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・
	B3 生徒は、学習計画表を活用し、自分で計画的に勉強している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	○ 家庭学習の定着を図るための「家庭学習の手引き」や「学習だより」を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着 ○「家庭学習強化週間」の設定 ○「自主学習ノート」の実施		【達成状況】 ・ 【次年度の方針】 ・

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	B4 生徒は、朝の読書の時間に進んで読書を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上 B5 生徒は交通ルールを守り、登下校時の安全に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 80%以上 地域住民肯定的回答 80%以上	○「読書月間」の設定し、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ・地域ボランティアの協力による本の読み聞かせの実施(読書への関心高揚) ○「図書だより」を活用した生徒・保護者への啓発 ・図書委員会の呼びかけによる読書活動の充実 ・全職員による月 1 回の登校指導および毎週水曜日の一斉下校時や部活動終了時の下校指導の徹底		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点指標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点指標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。